

動物実験計画書

埼玉大学長 殿

下記の動物実験計画について、国立大学法人埼玉大学動物実験規則第14条第1項の規定に基づき申請します。

部局等の 事務で記載

課 題 名	〇〇に関する研究
-------	----------

研究目的 <small>(直接的な目的のほか、動物実験が必要な理由、社会的・科学的意義についても記載する。)</small>	1. 研究の目的 2. 動物実験が必要な理由 (3Rの原則に基づき、動物実験の代替手法がないこと等、明確な理由を記入すること。単に、動物実験が必要では理由にならない。) 3. 社会的・科学的意義 (動物実験より得られる成果の意義について具体的に記載すること。) 計画書作製における注意事項 1. 様式のサイズ・行数は全ての項目で変更可能。教育目的の動物実験従事者欄を除き、別紙による追加事項等の記載は原則不可とする。 2. 「研究目的」と「研究計画と方法」のフォントサイズは10.5以上とする。枠は広げて構わない。
---	--

動物実験責任者	氏名 <small>(学生は学籍番号も記入)</small>	部局等名	職名 <small>(教職員のみ)</small>	メールアドレス	教育訓練の受講
	〇〇 〇〇	理工学研究科	教授	0000@mail.saitama-u.ac.jp	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
動物実験実施者	〇〇 〇〇	理工学研究科	博士1年	1111@mail.saitama-u.ac.jp	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

この欄は、教育訓練受講後に事務でチェックします

実験実施期間	20(XX)年 4月 ~ 20(XX)年 3月 研究期間は単年度としています。 年度途中が始期の場合でも終期は同一年度末が最長です。
--------	--

飼養保管施設及び実験室	飼養保管施設	動物飼育室					
	実験室	〇〇実験室					
使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)	備考
	マウス <i>(Mus musculus)</i>	ABC123	雄・雌	100	コンベンショナル	〇〇株式会社	購入後、一部は繁殖

初めて使用する (未承認の)
・飼養保管施設
・実験室
は、実験着手前に別途申請の上、承認を受ける必要があります。

研究計画と方法	研究概要 <small>(研究計画と方法について、その概要を記入する。)</small> 1. 実験の内容を具体的に記述すること 2. フォントサイズは10.5以上 枠は広げて構わない
---------	--

<p>実験方法 (審査を適正に行うため、動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。)</p> <p>記載する事項</p> <p>1. 具体的な実験の方法を記述すること</p> <p>2. 次の欄にある「実験方法」、「想定される苦痛のカテゴリー」および「動物の苦痛軽減、排除の方法」、「安楽死の方法」に記載される事項と整合性をもたせて記述すること。</p> <p>(記載例) イソフルランの吸入によって麻酔した動物を脳定位固定装置に保定し、脳内へウィルスベクターを微量注入する外科的処置をおこない、回復後、動物の行動を観察する(方法1、5、カテゴリーC、動物の苦痛軽減・排除方法1、2)。また、行動観察を終了した動物を深麻酔(三種混合鎮静剤)して安楽死させた後、脳を採取する(方法4、カテゴリーC、動物の苦痛軽減・排除方法1、2、安楽死の方法1)。</p> <p>1. 実験方法が多岐にわたる場合、実験ごとに実験方法を記載すること</p> <p>2. フォントサイズは10.5以上 枠は広げて構わない</p>								
<p>特殊実験区分 (選択項目を全て■)</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. 感染実験 安全度分類： <input type="checkbox"/>BSL1 <input type="checkbox"/>BSL2 <input type="checkbox"/>BSL3</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: <input checked="" type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 放射性同位元素・放射線使用実験</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 化学発癌・重金属実験</p> <p><input type="checkbox"/> 5. その他</p> <p><input type="checkbox"/> 6. 該当なし</p>							
<p>動物実験の種類 (選択項目を■)</p>	<table border="1"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 1. 試験・研究</td> <td rowspan="3"> <p>動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)</p> </td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2. 教育・訓練</td> <td><input type="checkbox"/> 2. 検討したが、代替手段の制度が不十分だった。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3. その他</td> <td><input type="checkbox"/> 3. その他</td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 試験・研究	<p>動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。	<input type="checkbox"/> 2. 教育・訓練	<input type="checkbox"/> 2. 検討したが、代替手段の制度が不十分だった。	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> 3. その他
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 試験・研究	<p>動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。						
<input type="checkbox"/> 2. 教育・訓練		<input type="checkbox"/> 2. 検討したが、代替手段の制度が不十分だった。						
<input type="checkbox"/> 3. その他		<input type="checkbox"/> 3. その他						

<p>想定される苦痛のカテゴリー (選択項目を■)</p>	<p>(A. 生物を用いない実験、あるいは植物、細菌、原虫、または無脊椎動物を用いた実験)</p> <p><input type="checkbox"/> B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽微なストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験</p> <p><input type="checkbox"/> D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛みを伴うと思われる実験</p> <p><input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験</p>
<p>動物の苦痛軽減 排除の方法 (選択項目を全て■)</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 3. 麻酔薬や鎮痛剤等の使用 (具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入 ○○剤(○○0.1mg、○○0.5mg…を腹腔投与)</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 動物が耐え難い痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 (具体的な基準を2点以上記)</p> <p><input type="checkbox"/> 5. その他 (具体的に記入)</p>
<p>安楽死の方法 (選択項目を全て■)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 麻酔薬等の使用(具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入 (○○剤(○○0.1mg、○○0.5mg…を腹腔投与)</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 炭酸ガス</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 中枢破壊 (具体的に記入 法)</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 安楽死させない (その理由を記入)</p>
<p>感染性廃棄物 (動物死体、注射針等)の排出の方法 (選択項目を■)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 科学分析支援センターで処分</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 外部業者に委託</p> <p><input type="checkbox"/> 3. その他(具体的に記入)</p>
<p>その他必要又は 参考事項</p>	<p>(遺伝子組換え実験安全委員会等への申請状況、過去の動物実験計画承認経験などを記入する。)</p> <p>・遺伝子組換え実験計画書を申請予定。</p> <p>・既承認済実験計画の継続研究 承認番号(RO-A-1-O)</p>

(委員会記入欄)

動物実験委員会の 本実験計画に対する 意見等	審査終了: 20()年 月 日
	修正意見等 審査結果
学長承認欄	承認: 20()年 月 日
	本実験計画 承認

事務で記入

埼玉大学長

※注1 原則として、実験開始年度と実験終了年度は同一年度とする。

※注2 所属する部局等の長の確認を受け、そのことが分かる資料を添付すること。